

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

マルハニチロ株式会社 今村 英雄

先日、ある食品加工メーカーの方と情報交換している中で、「2月にふりかけが異常に売れた」とのお話を伺いました。よくよく聞いてみると、スーパーやコンビニ、様々なお店で外国のお客さんが大量購入をしていった、とのこと。いわゆる“爆買い”です。テレビや新聞他、報道でご存知の通り、高級宝飾品、時計、家電製品から、医薬品、粉ミルク、一般の食品に至るまで、特に中華系の外国の観光客がびっくりするくらいの量と金額を“買付け”て行かれました。日本製品の品質の良さとその割には安い価格が魅力だとか……

ちなみにこのほど、独立行政法人日本政府観光局(JNTO)が発表した訪日外国人客数(推計値)によると、2015年2月度の数字は、前年同月比57.6%増の138万7千人で、これまで2月として過去最高であった昨年の数字(88万人)を50万7千人上回っただけでなく、昨年10月の127万2千人をも上回り、年間を通じた単月として過去最高を記録した、とのこと。また、昨年3月から12か月連続で月間の訪日外国人客数が100万人を突破しました。これはビザの緩和、消費税免税制度の拡充、円安の継続やこれらを契機とした訪日プロモーションが訪日外国人客数の拡大に繋がり、とりわけ中華系人口の多い国々での旧正月休暇における訪日が促進されたため、とあります。

そんな中、「なぜふりかけまで？」と疑問に思いますが、最近海外で起こっている和食ブームと関係があるようです。確かに、ふりかけは暖かい白いごはんに合うので、和食が広がりつつある所で消費が増えるというのもうなずけます(最近にはトースト用ふりかけもあるようですが)。“爆買い”で買って帰った炊飯器で炊いたご飯と一緒に食べるのでしょうか？

ところで、以前の協議会だよりでも触れましたが、東京築地から移転する豊洲新市場が来年11月にオープンすることが正式に決定しました。ここのところの円安の影響等で資材価格が高騰して当初の建設予定金額から大幅にコストアップしてしまったようですが、予定通り移転は行われるようです。移転先の豊洲には市場関係者以外が利用できる様々な施設もオープンします。宿泊も可能な温浴施設、生鮮食料品などを販売する場外市場、市場で販売される新鮮な魚や野菜などを食べることができるレストランなど、千客万来施設と銘打って、国内外の観光客を呼び込み、年間400万人以上の来場者に対応できるようにしています。

一方、移転元の築地の方も、「いままでも築地、これからも築地」をスローガンに、今まで通り、都心の飲食店関係者が日常的な買付けができるよう、「築地新市場(仮称)」をあらたに建設する予定です。朝の早い時間はプロの買い出し人のため、日中は一般の方々の買い物の場として、夜は施設屋上に設けられた飲食ゾーンにおいて築地の食を楽しめるような施設を目指としています。

新旧それぞれの市場が卸売市場の特性を活かし、「食」を中心とするあらたな観光拠点として、国内外の人に利用できる施設を整備し市場ならではの賑わいが創出されることと期待します。

そして、海外で健康に良いとして俄然注目されブームとなっている和食ですが、海外からの観光客の皆さんが今まで以上に日本で吸収してってもらい、そうなることでさらに和食が広がっていくという好循環も期待されます。やはり和食といえば魚。魚の消費も増え、ますます健康食品としての魚の認知度が海外において増していくでしょう。

ただ、魚を“爆買い”される弊害は常に資源リスクとして念頭においておかねばなりません……

〈第18回通常総会のご案内〉

第18回通常総会を以下のとおり開催いたします。会員各位へは、近日中にご案内を発送いたします。

日時: 平成27年5月20日(水)14:00～19:00

場所: 弘済会館 〒102-0083 東京都千代田区麴町5-1 TEL: 03-5276-0333

講演会: 本協議会の会員でありますスメーブジャパン株式会社の原社長および

協議会顧問の浜崎先生にご講演をお願いしております。

〈幹事会のうごき〉 平成27年3月13日(金)15:00～17:00、一般財団法人日本水産油脂協会新館において平成26年度第11回幹事会が開催された。

・秋に開催される公開講演会の講師について検討した。